

## 職場での思い出深い エピソードを 教えてください

- 昨年、40代位の男性に「看護師さんまだこの病院に勤めていたんか？おぼえてるかの〜？」と声をかけられました。その方は、10才の時に交通事故で大怪我をして入院し、当時の院長林一彦先生が手術を行い、「助けなければ!」と全員で取り組み、元気になって退院された方でした。立派なお父さんになられた姿を見ることができ、大変嬉しかったです。(看護部)
- 病棟のレクリエーションで、患者さんと夏祭りをしました。いろいろな屋台を出して、ゲームをしたり、民謡を踊ったり、かき氷を振る舞ったりした事が印象に残っています。(看護部)
- 大きな褥瘡ができて入院された患者さんを、医師や看護師の連携で治療することができました。さらに、ケアマネジャーやご家族の方との連携で、ご自宅にお戻りいただけました。かなり厳しい状況の中でも、スタッフが一致団結して、あきらめずに治療を行った事で良い結果につながった、思い出深い症例です。(看護部)
- 医事会計システムの更新や、オーダーリングシステムの導入など、大きなプロジェクトに関われたことです。(情報開発G)
- 今の自分があるのは、たくさんの患者さん、先生方、先輩方に色々な事を経験させていただき、ご指導いただいたおかげです。ただただ感謝あるのみ、ありがとうございます。(看護部)
- 100周年記念事業で出前講座を行ったこと。スタッフ全員で取り組み、地域の方々にも熱心に聴いていただけ盛り上がりしました。(居宅事業部)
- 看護師になって、初めてありがとうとお礼を言われた時の事を今でも覚えています。(看護部)

- ロボットスーツ HAL を使用したりハビリの実績を更に増やしていきたいです。(診療技術部)

- 地域の施設や救急隊を訪問し、より円滑なコミュニケーションが図れる関係を築きたいです。(看護部)

## 部署として これから取り組んで いきたい事は？

- 人材育成。知識や技術、そして心が成長できるよう取り組みたいです。(看護部)
- 消化する力が弱った人でも、「食べる」ことの喜びを感じられるような、心にも働きかけられる病院食の提供ができればと思っています。(診療技術部)
- 栄養サポートチーム、感染制御チーム、糖尿病教室などチーム医療において専門性を活かし、患者さんの不安が笑顔に変われるよう努めていきたいです。(診療技術部)
- ターミナルケアをさらに充実させる事と、小児の訪問ケアを少しずつ増やしていく事です。(居宅事業部)
- 診療放射線技師として当院で必要な資格認定を取り、研究発表や他院との交流を通して、豊かな人間性と豊富な知識を持った医療人を育成していきたいです。(診療技術部)
- 健診データを総合的に活かし、2次健診に繋がるフォローをしっかりと、人間ドックの使命を果たしていきたいです。(健診部)

# 更なる100年にむけて次世代につなぐ思い

各部署代表者のこれからへの思いなどを集めました

## 若い世代の職員に 期待する事は？

- 働きやすい環境を人まかせ、物まかせではなく、みんなで作ってあげてほしいと思います。“一日はあいさつで始まりあいさつで終わる”(診療技術部)
- 先輩たちの良い所をどんどん吸収して、ひとつでも多くのことにチャレンジしてほしいと思います。(診療技術部)
- 『何事にも常に自発的な気持ちを持ってなす』ような心がけてください。(診療技術部)
- 技術向上のために探究心を忘れずに自分のペースで学び続けてほしい。継続が困難に感じる時もありますが、必ず未来につながります。(診療技術部)
- 創意工夫をこらして仕事は楽しく！(事務部)
- 何事にも一生懸命取り組み、お互い(患者さんや職員)のつながりを大切にしてほしいと思います。(事務部)
- 一人の人間として、忙しい時こそ相手を思いやる心を持ってほしいです。(看護部)
- 看護観と人間力を磨きながら、後輩の育成に尽力し、林病院と丹南地域の看護レベルの向上に貢献してください。(看護部)
- あらゆる面で上手くコミュニケーションがとれるようになる事を期待します。(事務部)
- ナースコールや訴えがある前から動きを予測して“おもてなしの心”で配慮できるような、ゆとりある仕事をして欲しいです。(看護部)
- 今後ますます多職種での協働が求められるので、協調性を養ってください。(地域医療部)
- 自分の感情に左右されず、平常心で患者さんと接する事が大切です。それぞれが自分なりの方法を見つけていってください。(看護部)